

令和7年度 大洗町立南中学校 グランドデザイン

茨城県 学校教育推進の重点

本県教育の目標

ひとりひとりの能力を開発し 豊かな人間性をつちかう
 じょうぶな身体をつくり たくましい心を養う
 郷土を愛し 協力しあう心を育てる

いばらき教育プラン（茨城県総合計画より）

基本理念 「活力があり、県民が日本一幸せな県」

- I 新しい豊かさ II 新しい安心安全
- III 新しい人財育成 IV 新しい夢・希望

学校教育推進の柱

- ①確かな学力を育む教育の推進 ②豊かな心を育む教育の推進
- ③健やかな体を育む教育の推進 ④時代の変化に対応できる教育の推進

大洗町の教育目標

郷土を愛し、新たな事へチャレンジできる大洗っ子の育成
 ～「絆づくりは夢づくり」町民や子どもたちの明るい未来のために～

- [1] 徳・体・知が調和した特色ある教育の推進
- [2] 学校・家庭・地域の連携と協働による安心して学べる環境の整備
- [3] 生涯学習活動の推進
- [4] 歴史資源の保存と活用

〔南中の三つの宝〕 『時』『礼』『美』 自主・自律を目指し

学校教育目標

自ら学ぶ意欲をもち、創造性に富む知性豊かな生徒の育成
 正しい判断力をもち、情操豊かで思いやりのある生徒の育成
 目標達成に向かって粘り強く努力し、心身ともにたくましい生徒の育成

生徒の実態

- 学習
 ○授業に対する受け身な姿勢
- 生活
 ○「時・礼・美」を自分事にできていない
- 人間力（生きる力）
 ○根気強さ、粘り強さの不足
 ○自信がない、周りの意識が強い
 ○遠慮がち

生徒の発達をどのように支援するか

- 愛情とエネルギーを注ぐ
- 生徒一人一人と向き合い、寄り添う時間の確保
 - 生徒一人一人の教育的ニーズに合った支援
 - 自己選択・自己決定させる場の設定

目指す生徒の姿

- 学習
 ○自分たちで共に授業を創る意識
- 生活
 ○「時・礼・美」が自分事になる人間力（生きる力）、自己肯定感、豊かな人間関係の形成
- 根気強く
 - 自分の意見をきちんと伝える
 - 自分の思いをもって行動する
 - 物怖じしない、自信を持つ

豊かな人間性

- ①互いのよさを認め合い、自分のよさを発揮するための特別活動の充実（生徒自身による問題解決力、よりよい人間関係の構築）
- ②いじめ等の問題行動に向かわせないための人権教育の充実
- ③不登校の未然防止と解消に向けた教育相談体制の充実
- ④自己肯定感を高める仕掛けをつくる。（良いところさがし、役割を与える、努力を言語化する）

健康・体力

- ①短時間で合理的かつ効率的・効果的な指導方法による部活動の充実
- ②養護教諭・栄養教諭の連携による保健指導の充実（心の健康、風通しのよい人間関係の構築、セルフプロデュース）
- ③心理的安全性のある環境を作る（安心して意見を言える環境、小さな成功体験、失敗を責めない）

確かな学力

何ができるようになるか

- ・自ら課題を探究的に学ぶ
- ・よりよい、深い議論

何が身に付くのか

- ・根気強く学習に取り組む姿勢
- ・課題と向き合う姿勢
- ・積極的な学習態度

何を学ぶのか

- ・先を見通して自身に必要な学びを見つける。
- ・知識を関連付け、実社会と結びつける力

どのように学ぶか

- ①STEAM教育及び総合的な学習の時間を軸とした教科横断的な授業
- ②デジタル教材を取り入れた授業
- ③家庭学習

実施するために何が必要か

- 柱：9年間を見通した小学校との連携教育の実践（総合的な学習の時間の充実、教科横断的な学び、行事・部活動・学習習慣等における小中連携）
- 三つの対話（課題・仲間・自分）
 +教科等横断的対話、地域・学校外の機関との対話（地域とともにある学校づくり／地域人材の活用）

教育活動を支えるために

「大洗うみ・まちコミュニティスクール（南エリア）学校運営協議会との連携」

◇家庭や地域と連携した教育活動の推進

- ・地域の人的・物的資源を活用した特色ある教育活動の展開
- ・幼・小・中連携教育の推進
- ・学校評価の実施と改善

- ・教職員の健康な心身の維持【バランスの取れた働き方】
- ・風通しのよい職場環境

見守り隊

広い視野をもち、何事にもチャレンジ！

自分を、みんなを、大洗町を大切にできる子供たち！

組織目標：粘り強く考え、自らの手で未来を拓く生徒を育てる教育活動の実現